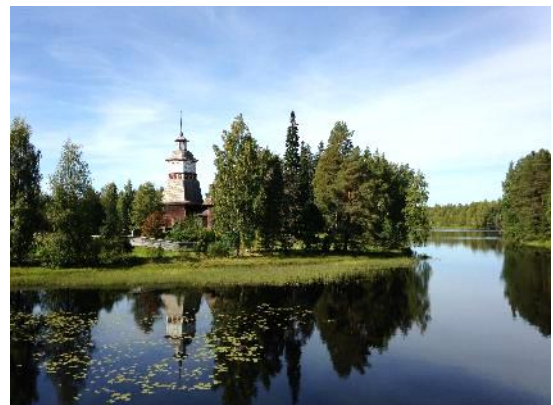


広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26年 9月15日			
所属学部・研究科	工学部 4年次 (留学開始時点)			
留学先大学	ユヴァスキュラ大学 (国名: フィンランド共和国)			
所属学部・学科等名	環境科学部			
在籍身分	交換留学生 (Bilateral student)			
留学期間	平成 25年 8月 1日 ~ 平成 26年 5月 31日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: Residence permit for studies			
	ビザ申請先: フィンランド大使館			
	取得方法, 提出書類: オンライン申請を済ませたのちにフィンランド大使館にて申請。 (オンライン申請の際にIEなどのブラウザでうまく処理できないことがあったので気を付けてください。私はこの件でオンライン申請がうまく行かず、窓口申請に行ったときにその旨を伝えて後日済ませましたが、向こうから何の連絡もなく申請が滞っていたので、再度連絡し手続き進めてもらいました。)			
	手続きに要した日数: 約1か月半			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 25年 8月 6日			
経路	名古屋—ヘルシンキ その後バスでユヴァスキュラまで			
現地での出迎え	ユヴァスキュラのバス停までチューター方が迎えに来てくださいました。			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	大学としてのオリエンテーションは9月の学期初めにあります。 私は事前に英語のサマーコースを受講していましたが、到着後1週間から2週間かけてチューターの方に教えていただきました。(留学生は全員チューターがついています。)			
帰国年月日	平成 26年 7月 1日			
経路	クラコフ (ポーランド) —ヘルシンキ—大阪			
2. 留学経費について				
所要経費	総額	1840000	円	
	内訳	渡航費	130000	円
		保険料	120000	円
		教科書代(学費) (広島大学に)	520000	円
		宿舍費	322000	円
		食費	500000	円
		その他 (旅行費)	250000	円
3. 授業について				

25年 夏季	8月 20日 ~ 8月 30日
25年 前期	9月 1日 ~ 12月 15日
26年 学期	1月 7日 ~ 5月 31日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	留学生向けに英語で開講されている授業の中から自分で選んでとる。 基本的に所属学部によらず、好きな授業を取れるが、中には自分の大学で学んできたバックグラウンドがないと取れない授業もある。(私はビジネスの授業は取れませんでした。)
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	基本的に何でも勉強できるので、あまり詰め込みすぎないように授業を取って、自分の専門に限らず色々な学部の授業を取るのも面白いと思います。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> パート (大学の斡旋) <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	結構広かった <input type="checkbox"/> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1ヶ月当たり 227ユーロ(現地通貨) (光熱費込) 約 32000円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学が斡旋するKOASに入る方が多いと思います。Roninmaentie は留学生が多く楽しい (週末はやかましい)、Millyalvi は新しいが少し遠い、Ristonma は大学に近いです。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> なかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 120000 円 補償額 死亡 円, 入院1日 円 その他 (詳細は覚えていませんが、大学の指定するものです。)
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	大学の保健センターみたいなものがあり、アポイントメントを取って診察を受けることができる。基本的に無料ですが、無断でキャンセルすると結構高いお金を払わないといけないので注意した方がいいです。

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	非常に乾燥しやすいので、乾燥に弱い人は注意。 あと、冬は、寒いです。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
基本的に安全だが自転車事故などのトラブルがたまにあるので気を付けた方がよい。(特に冬は滑るので Roninmaentie は留学生が多いので比較的治安が悪いかもしれない。一度車泥棒に出くわして撃退しました。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
基本的なことです。万一に備えて警察の電話番号を覚えておかないと、いざトラブルがあった時に困るなど痛感しました。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27年 3月	(当初の卒業予定年月 平成 26年 3月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input checked="" type="checkbox"/> 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	就職	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫		
6. 留学準備, 留学中に役立つ書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
フィンランド人は本当に英語でコミュニケーション取れる人が多いので、日常でそんなに大きな不便はないと思います。私の場合、チューターの方に大変親身になって色々なことを助けていただいたので、困ったときはチューターを積極的に頼ればよいと思います。トラブルがあった時にフィンランド語で説明できずに、何度か大変なことがあったので、常にチューターの方とは連絡を取れるようにしていた方がいいと思います。		



学習の概要に関するレポート

私は工学部で化学系の勉強をしているため向こうでの所属学部は環境科学部になりました。しかし、ユヴァスキュラ大学では、留学生向けにさまざまな授業が英語で開講されているため、私自身は社会科学の授業を中心に授業を組みました。社会科学といっても今まで勉強した経験がないので、advancedのクラスは履修しませんでした。主にLiving with Globalizationというモジュールの中から授業を取り、留学期間中に終了することができました。また、英語の授業も取りました。一口に英語の授業といっても様々な種類があり、私が特に面白かったのはPublic speech and debateとRoman cultureの授業です。このように英語の授業もベーシックなコースから、何かをテーマに英語を使う練習をするようなコースまであり、私としては「英語を学ぶ」というより「英語を通じて学ぶ」授業が単純に面白かったことと、留学生向けに英語で開講されている授業では普段あまり出会う機会がないフィンランド人学生との出会いもあったので、前後期通して数個取っていました。

授業のスタイルとしては、私が社会科学を中心に勉強していたからか、予習復習を前提として行われる授業が多いように感じられました。特徴としては、Learning diaryという毎回授業のフィードバックとしてエッセイを課す授業が多いと思います。これは英語の授業でも、社会科学の授業でも、フィンランド語入門の授業でも同じで、わからなかったところや、自分に足りないと思ったことや、授業の内容のまとめ、感想といったことを書いて提出するものでした。

ティーチングスタイルは、やはりディスカッション・プレゼンテーション・グループワークを行う機会が非常に多いです。周りの生徒と自分の英語力にもよると思いますが、知識だけあっても授業についていけないですし、さらに自分がよく知らないトピックともなると、授業中完全に何もできない状態になってしまうこともあるかと思います。ここは日本との大きな違いだと思います。

時間割は広島大学とさほど変わりませんが、お昼休み、という時間がないので、授業が詰まっている日はおなかがすくかもしれませんね！びっくりしたのは、フィンランド人学生が、授業中に一番前の席で先生と話しながらヨーグルトを食べ始めたことと、もっとびっくりしたのは、きれいなお姉さん風の学生が生生のエンジンをボリボリ食い始めたことです。みなさんも授業中におなかがすいたのを我慢できなくなったら、少し位ご飯を食べてもオッケーなのがフィンランド流かと思いますので安心してください。キャンパスは広島大学より大きいくらいあるので、日によっては自転車でキャンパス内を移動しないといけないですが、授業間の休み時間が30分ぐらい確保されているので、それほど大きな問題にはならないと思います。

全体を通して、私は学習面で非常に楽しく有意義な時間を過ごしました。期末エッセイなどを提出せずに単位が認定されなかったものもいくつかありましたが、ディスカッションやグループワークが多い授業だったため、とにかく色々な学部の授業に足を運んで、授業に参加するのが面白いと感じていました。また教育の国・フィンランドに、世界中から留学生が集まっていたことも大変環境に恵まれていたと感じる点で、その中で日本人として文化や国、グローバル化について議論できたことは私にとって大きな影響を与えるものでした。



生活の概要に関するレポート

ユヴァスキュラは自然が豊かで、非常にきれいな街です。留学生の数も多いためか、市民の英語を話せる人の割合はとても高いと思います。大学幹旋のアパートからはスーパーも近く、大学も自転車で15分程度のところに位置しており、物価が少し高いことを除けば、なんの不便もなく快適に過ごすことができました。物価についてですが、やはり全体的にもものは高いです。Lidl というドイツ発のチェーン店のスーパーで比較的安い食料品が手に入ります。生活用品・防寒服などはセカンドハンドショップを利用するなどして節約していくことが可能かと思えます。セカンドハンドショップは大学の Sports building の前に一つ、シティーセンターに3つぐらいあるので、非常に役に立ちます。また Facebook の Second-hand in Jyvaskyla というグループでは、自転車から服までみんなが売り買いしているので登録しておくとお便利です。Kortephoja (毎週火曜日の夕方) と大学図書館の前には、フリーショップもあり、必要なものをただで手に入れることもできるのでぜひチューターの方に聞いてみてください。

移動に関しては、多くの人が自転車を必要とすると思います。自転車があればそれほど問題ないかもしれませんが、大体 KOAS の寮から大学まで自転車で15分、シティーセンターまで25分くらいだと思います。徒歩は無理かと思えます。バスも利用できますが、みんなでちょっとどこかへ行こうという時に、自転車ないといけなような状況もあるので1台持っておくのがいいと思います。自転車屋さんで買えば中古でも100ユーロ近くしますが、Facebook や大学図書館前のフリーショップでは、一台30ユーロぐらいで同じくらいのスペックのものが手に入ります。冬の前には大学でウィンタータイヤに変えてくれるサービスもあります。

自転車に乗る際には事故とトラブルに気を付けてください。私の友人では3人事故に遭い大変そうでした。一人目はお店で買った自転車のブレーキが利かずに停車していた車にぶつかり、保証書もなかったことから自転車屋さんからは結局お金を払ってもらえませんでした。もう一人も同じくブレーキが利かず、坂道でガードレールにぶつかり森の茂みの中にぶっ飛んだそうです。彼女はタイトのまたが割けたと笑い話にしていたのですが、一歩間違えばかなり危なかったと思います。あと一人は雪道の横断歩道を渡っているときに事故に遭い、幸いケガはなかったものの、車の運転手の方も気が動転していて、加えて英語が通じなかったので色々大変でした。自転車を買う際にはきちんとブレーキなどのチェックを怠らないこと（コンディションの悪い自転車を格安で売ろうとしてくる留学生もいます）、常に保険会社の電話番号を持つておくことをお勧めします。

寮での生活は週末に騒がしかったり、フラットメイトとうまくいかなかったり、トラブルも多くあると思います。しかし私の経験上、みなそのような時期があり、そこを乗り越えて成長してきたように感じます。1年間も見ず知らずの生まれた国も文化も違う学生と生活する、というのはチャレンジングなことです。うまく乗り越えるコツは、何より逃げずに向き合うことだと思います。面と向かって意見を言うことは日本人にとっては難しいことかもしれませんが、私自身は、この経験を通じて自分の悪い点にも気付くことができ、一つブレイクスルーすることができたと思っています。

今回は生活の概要ということで、私の留學生活を一言でまとめると、「めちゃくちゃ楽しかった!!」につきます。1年間、信じられないほどの学びを、この上なく楽しむ形で得ることができたと思います。最後にこの HUSA プログラムを支えてくださった大学関係者の皆様と、金銭的にも精神的にも支えてくれた両親に心からお礼申し上げたいと思います。ありがとうございました。

